

安黒務師を迎えての

公開講演会と公開クラス

2019年5月21日(火)

会場：同盟福音・名古屋金山キリスト教会

〒460-0022 名古屋市中区金山2-1-3 金山クリスチャンセンター1階

TEL 052-331-4058

問い合わせ／東海聖書神学塾・檀原、TEL 052-321-7516

●日本福音主義神学会中部部会主催・公開講演会／13：30～16：00

テーマ：①福音主義神学の視点から「ディスペンセーション主義の
“聖書解釈法・教会論・終末論”」を分析・評価する

予約不要・入場無料ですが、集会での献金があります

●東海聖書神学塾主催・公開クラス／18：00～20：30

テーマ：②福音主義神学の視点から「キリスト教シオニズムの“土地・
エルサレム・神殿”回復の教え」を分析・評価する

予約不要ですが、受講料1000円が必要です。東海聖書神学塾生は無料

《ご 案 内》

昨今の報道では、「米国のトランプ大統領を支持する米国の福音派教会」という内容が多々あり、しかもそれらの教会の一部は「エルサレムの回復がキリストの再臨を早める」という信仰に立つと言われています。これまでの日米のキリスト教会の関係と今後の影響力を考えると、福音主義の「正しい終末の理解」に立脚し、この運動と教えをできるだけ客観的に分析・評価しておくことは不可欠なことではないでしょうか。

今回の中部部会の公開講演会と東海聖書神学塾のオープン授業では、このような文脈の下、「いつの時代でも、聖霊は教会に対して、聖書による神の啓示に忠実であるかどうかの精査を命じられる。…おのおのの伝統を謙虚にかつ批判的に精査し、間違っただけで神聖視されている教えや実践を捨て去ることによって、神は歴史上のいろいろな教会の流れの中で働いておられることを認識しなければならない」（シカゴ・コール）という視点から、安黒務師に上記の講演・講義と質疑応答をお願いすることとしました。関心のある方は、是非、お越しください。お待ちしております。

<安黒務師プロフィール>

1954年生まれ。関西学院大学、関西聖書学院、東京基督教大学、共立基督教研究所卒業。日本福音教会（JEC）一宮チャペル牧師を務めるかたわら、インターネットを通しての継続神学研究機関である『一宮基督教研究所（略称：ICI）』を主宰。訳書には、M・J・エリクソン著『キリスト教神学』1・2、G・E・ラッド著『終末論』、C・P・ベネマ『「パウロ研究の新しい視点」再考』等。論文に『福音主義イスラエル論—神学的・社会的視点からの一考察』、『NPPを基盤とした“N・T・ライトの義認論”に関する一考察』等。

ICI ホームページの中の「ICI 資料リスト」参照。 <http://www.aguro.jp/>

